



ポリシーを使用したスマートライセンスの コマンドリファレンス

ここでは、スマート ライセンシング コマンドの完全なコマンド構文について説明します。

- [license smart \(グローバル コンフィギュレーション\) \(1 ページ\)](#)
- [license smart \(特権 EXEC\) \(7 ページ\)](#)
- [show license all \(12 ページ\)](#)
- [show license authorization \(15 ページ\)](#)
- [show license data \(20 ページ\)](#)
- [show license eventlog \(20 ページ\)](#)
- [show license history message \(23 ページ\)](#)
- [show license reservation \(24 ページ\)](#)
- [show license status \(25 ページ\)](#)
- [show license summary \(34 ページ\)](#)
- [show license tech \(35 ページ\)](#)
- [show license udi \(43 ページ\)](#)
- [show license usage \(44 ページ\)](#)
- [show platform software sl-infra \(47 ページ\)](#)

license smart (グローバル コンフィギュレーション)

ライセンス関連の機能を設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **license smart** コマンドを入力します。デフォルト値に戻すには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
license smart { custom_id ID | enable | privacy { all | hostname | version } | proxy { address  
address_hostname | port port } | reservation | server-identity-check | transport { automatic |  
callhome | cslu | off | smart } | url { url | cslu cslu_url | default | smart smart_url | utility  
secondary_url } | usage { customer-tags { tag1 | tag2 | tag3 | tag4 } tag_value | interval  
interval_in_days } | utility [ customer_info { city city | country country | postalcode postalcode |  
state state | street street } ] }
```

```
no license smart { custom_id | enable | privacy { all | hostname | version } | proxy { address
address_hostname | port port } | reservation | server-identity-check | transport | url { url | cslu
cslu_url | default | smart smart_url | utility secondary_url } | usage { customer-tags { tag1 | tag2
| tag3 | tag4 } tag_value | interval interval_in_days } | utility [ customer_info { city city | country
country | postalcode postalcode | state state | street street } ] }
```

構文の説明

custom_id <i>ID</i>	このオプションはCLIには表示されますが、サポートされていません。
enable	このキーワードはCLIには表示されますが、設定しても適用されません。スマートライセンスは常に有効になっています。
privacy { all hostname version }	CSSMに送信される使用状況レポートから特定の情報を除外できます。次のオプションから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • all : すべての通信で最小限のライセンス情報のみを送信します。 • hostname : 通信からホスト名を除外します。 • version : 通信からスマートエージェントのバージョン情報を除外します。スマートエージェントは、すべての製品インスタンスに存在します。
proxy { address <i>address_hostname</i> port <i>port</i> }	プロキシを設定します。転送モードが license smart transport smart または license smart transport cslu の場合にのみ、このオプションを使用してプロキシを設定できます。 <p>プロキシが設定されている場合、メッセージは最終宛先URL (CSSM) とともにプロキシに送信されます。プロキシはメッセージをCSSMに送信します。</p> <p>次のオプションを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • address <i>address_hostname</i> : プロキシアドレスを設定します。 <p><i>address_hostname</i> には、プロキシのIPアドレスまたはホスト名を入力します。</p> • port <i>port</i> : プロキシポートを設定します。 <p><i>port</i> には、プロキシポート番号を入力します。</p>

reservation	ライセンス予約機能を有効または無効にします。 (注) このオプションは、CLI で表示されますが、ライセンスの予約が不要になったため、ポリシーを使用したスマートライセンスの環境では適用されません。承認コードを要求してインストールするには、代わりに特権 EXEC モードで license smart authorization request コマンドを使用します。 license smart (特権 EXEC) (7 ページ) を参照してください。
server-identity-check	HTTP セキュアサーバの ID チェックを有効または無効にします。
transport { automatic callhome cslu off smart }	製品インスタンスが CSSM との通信に使用する転送モードを設定します。次のオプションから選択します。 <ul style="list-style-type: none">• automatic : 転送モード cslu を設定します。• callhome : 転送モードとして Call Home を有効にします。• cslu : 転送モードとして CSLU を有効にします。これがデフォルトの転送モードです。• off : 製品インスタンスからのすべての通信を無効にします。• smart : スマート転送を有効にします。

```
url {url | cslu cslu_url | default | smart
smart_url | utility secondary_url }
```

設定された転送モードに使用する URL を設定します。次のオプションから選択します。

- **url** : 転送モードとして **callhome** を設定している場合は、このオプションを設定します。CSSM URL を次のように正確に入力します。

`https://software.cisco.com/#module/SmartLicensing`

no license smart url url コマンドは、デフォルトの URL に戻ります。

- **cslu cslu_url** : 転送モードとして **cslu** を設定している場合は、このオプションを設定します。CSLU URL を次のように入力します。

`http://<cslu_ip_or_host>:8182/cslu/v1/pi`

<cslu_ip_or_host> には、CSLU をインストールした Windows ホストのホスト名または IP アドレスを入力します。8182 はポート番号であり、CSLU が使用する唯一のポート番号です。

no license smart url cslu cslu_url コマンドは `http://cslu-local:8182/cslu/v1/pi` に戻ります

- **default** : 設定されている転送モードによって異なります。このオプションでは、**smart** および **cslu** 転送モードのみがサポートされます。

転送モードが **cslu** に設定されている場合、**license smart url default** を設定すると、CSLU URL は自動的に設定されます

(`https://cslu-local:8182/cslu/v1/pi`)。

転送モードが **smart** に設定されている場合、**license smart url default** を設定すると、スマート URL は自動的に設定されます

(`https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license`)。

- **smart smart_url** : 転送タイプとして **smart** を設定している場合は、このオプションを設定します。URL を次のように正確に入力します。

`https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license`

このオプションを設定すると、システムは **license smart url url** で自動的に URL の複製を作成します。重複するエントリは無視できません。これ以上の操作は必要ありません。

no license smart url smart smart_url コマンドは、デフォルトの URL に戻ります。

- **utility smart_url** : このオプションは CLI では使用できませんがサポートされていません。

usage { **customer-tags** { **tag1** | **tag2** | **tag3** | **tag4** } **tag_value** | **interval** **interval_in_days** }
 使用状況レポートの設定を提供します。次のオプションを設定できます。

- **customer-tags** { **tag1** | **tag2** | **tag3** | **tag4** } **tag_value** : テレメトリ用のデータモデルに含める文字列を定義します。最大4つの文字列 (またはタグ) を定義できます。

tag_value には、定義する各タグの文字列値を入力します。

- **interval** **interval_in_days** : レポート間隔の日数を設定します。デフォルトでは、RUM レポートは 30 日ごとに送信されます。有効な値の範囲は 1 ~ 3650 です。

この値をゼロに設定すると、適用されるポリシーの指示に関係なく、RUM レポートは送信されません。これは、CSLU または CSSM が受信側にある可能性があるトポロジに適用されません。

ゼロより大きい値を設定し、通信タイプがオフに設定されている場合、**interval_in_days** と Ongoing reporting frequency (days) : のポリシー値の間で、値の小さい方が適用されます。たとえば、**interval_in_days** が 100 に設定され、ポリシーの値が Ongoing reporting frequency (days) : 90 の場合、RUM レポートは 90 日ごとに送信されます。

間隔を設定せず、デフォルトが有効な場合、レポート間隔は完全にポリシー値によって決定されます。たとえば、デフォルト値が有効で、適用されていないライセンスのみが使用されている場合、ポリシーでレポートが不要と記述されていると、RUM レポートは送信されません。

utility [**customer_info** { **city** **city** | **country** **country** | **postalcode** **postalcode** | **state** **state** | **street** **street** }]
 このオプションは CLI には表示されますが、サポートされていません。

コマンド デフォルト

Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 以降、ポリシーを使用したスマートライセンスはデフォルトで有効になっています。

コマンドモード	Global config (Device(config)#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。
	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>ポリシーを使用したスマートライセンスで、次のキーワードと変数が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • url キーワードの下に、次のオプションが導入されました。 <pre>{ cslu cslu_url smart smart_url }</pre> • transport キーワードの下に、次のオプションが導入されました。 <pre>{ cslu off }</pre> さらに、デフォルトの通信タイプが callhome から cslu に変更されました。 • usage { customer-tags { tag1 tag2 tag3 tag4 } tag_value interval interval_in_days } <p>license smart コマンドの次のキーワードと変数は廃止され、CLI では使用できなくなりました：enable、conversion automatic。</p>

license smart (特権 EXEC)

スマートライセンスを管理するには、**license smart** コマンドを特権 EXEC モードで入力します。

```
license smart { authorization { request { add | replace } feature_name { all | local } | return { all | local } { offline [ path ] | online } } | clear eventlog | export return { all | local } feature_name | factory reset | import file_path | save { trust-request filepath_filename | usage { all | days days | rum-id rum-ID | unreported } { file file_path } } | sync { all | local } | trust idtoken id_token_value { local | all } [{ force } ] }
```

構文の説明	smart	スマートライセンスのオプションを提供します。
	authorization	承認コードを要求する、または承認コードを返却するオプションを提供します。
	request	CSSM や CSLU から承認コードを要求し (CSLU は CSSM から承認コードを取得)、製品インスタンスにインストールします。

add	要求されたライセンスを既存の承認コードに追加します。新しい承認コードには、既存の承認コードのすべてのライセンスと要求されたライセンスが含まれます。
replace	<p>既存の承認コードを置き換えます。新しい承認コードには、要求されたライセンスのみが含まれます。現在の承認コードのすべてのライセンスが返却されます。</p> <p>このオプションを入力すると、製品インスタンスは、削除される承認コードに対応するライセンスが使用中であるかどうかを確認します。ライセンスが使用されている場合は、対応する機能を最初に無効にするようにエラーメッセージが表示されます。</p>
<i>feature_name</i>	承認コードを要求するライセンスの名前。
all	高可用性セットアップですべての製品インスタンスに対してアクションを実行します。
local	アクティブな製品インスタンスに対してアクションを実行します。これがデフォルトのオプションです。
return	CSSM のライセンスプールに承認コードを返却します。
offline <i>file_path</i>	<p>製品インスタンスが CSSM に接続されていないことを意味します。承認コードはオフラインで返却されます。このオプションでは、戻りコードをファイルに出力する必要があります。</p> <p><i>file_path</i> には、戻りコードを保存したファイルの場所を指定します。</p>
online	製品インスタンスが接続モードであることを意味します。承認コードは、CSLU や CSSM に直接返されます。
clear eventlog	製品インスタンスからすべてのイベントログファイルをクリアします。
export return	輸出規制ライセンスの承認キーを返却します。
factory reset	製品インスタンスから保存されているすべてのスマートライセンス情報をクリアします。
import <i>filepath_filename</i>	<p>製品インスタンスにファイルをインポートします。ファイルは、承認コード、信頼コード、またはポリシーのファイルである場合があります。</p> <p><i>filepath_filename</i> には、場所（ファイル名を含む）を指定します。</p>
save	RUM レポートや信頼コード要求を保存するオプションを提供します。
trust-request <i>filepath_filename</i>	<p>アクティブな製品インスタンスの信頼コード要求を指定した場所に保存します。</p> <p><i>filepath_filename</i> には、ファイルの絶対パス（ファイル名を含む）を指定します。</p>

<p>usage { all days <i>days</i> rum-id <i>rum-ID</i> unreported } { file <i>file_path</i> }</p>	<p>RUM レポート (ライセンス使用状況情報) を指定した場所に保存します。次のいずれかのオプションを指定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • all : すべての RUM レポートを保存します。 • days <i>days</i> : 過去 <i>n</i> 日間 (現在の日を除く) の RUM レポートを保存します。番号を入力します。有効範囲は 0 ~ 4294967295 です。 たとえば、3 と入力すると、過去 3 日間の RUM レポートが保存されます。 • rum-Id <i>rum-ID</i> : 指定した RUMID を保存します。値の有効な範囲は 0 ~ 18446744073709551615 です。 • unreported : すべての未報告の RUM レポートを保存します。 <p>file <i>filepath_filename</i> : 指定した使用状況情報をファイルに保存します。ファイルの絶対パス (ファイル名を含む) を指定します。</p>
<p>sync { all local }</p>	<p>CSLU や CSSM と同期して、保留中のデータを送受信します。これには、保留中の RUM レポートのアップロード、ACK 応答のダウンロード、および製品インスタンスの保留中の承認コード、信頼コード、ポリシーが含まれます。</p> <p>次のいずれかのオプションを入力して、製品インスタンスを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • all : 高可用性セットアップですべての製品インスタンスに対して同期を実行します。このオプションを選択すると、製品インスタンスは同期要求内にあるすべての UDI のリストも送信します。 • local : 要求を送信するアクティブな製品インスタンス、つまり自身の UDI に対してのみ同期を実行します。これがデフォルトのオプションです。
<p>trust idtoken <i>id_token_value</i></p>	<p>CSSM との信頼できる接続を確立します。</p> <p>このオプションを使用するには、最初に CSSM ポータルでトークンを生成する必要があります。<i>id_token_value</i> に生成されたトークン値を指定します。</p>
<p>force</p>	<p>信頼コードが製品インスタンスにすでに存在する場合でも、信頼コード要求を送信します。</p> <p>信頼コードは、製品インスタンスの UDI にノードロックされます。UDI がすでに登録されている場合、CSSM は同じ UDI の新規登録を許可しません。force キーワードを入力すると、この動作が上書きされます。</p>

コマンド デフォルト

Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 以降、ポリシーを使用したスマートライセンスはデフォルトで有効になっています。

コマンドモード	特権 EXEC (Device#)						
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> <tr> <td>Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2</td> <td> <p>ポリシーを使用したスマートライセンスで、次のキーワードと変数が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • authorization { request { add replace } <i>feature_name</i> { all local } return { all local } { offline [<i>path</i>] online } } • import <i>file_path</i> • save { trust-request <i>filepath_filename</i> usage { all days <i>days</i> rum-id <i>rum-ID</i> unreported } { file <i>file_path</i> } } • sync { all local } • trust idtoken <i>id_token_value</i> { local all } [force] <p>license smart コマンドの次のキーワードと変数は廃止され、CLI では使用できなくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • register idtoken <i>token_id</i> [force] • renew id { ID auth } • debug { error debug trace all } • mfg reservation { request install install file cancel } • conversion { start stop } </td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>ポリシーを使用したスマートライセンスで、次のキーワードと変数が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • authorization { request { add replace } <i>feature_name</i> { all local } return { all local } { offline [<i>path</i>] online } } • import <i>file_path</i> • save { trust-request <i>filepath_filename</i> usage { all days <i>days</i> rum-id <i>rum-ID</i> unreported } { file <i>file_path</i> } } • sync { all local } • trust idtoken <i>id_token_value</i> { local all } [force] <p>license smart コマンドの次のキーワードと変数は廃止され、CLI では使用できなくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • register idtoken <i>token_id</i> [force] • renew id { ID auth } • debug { error debug trace all } • mfg reservation { request install install file cancel } • conversion { start stop }
リリース	変更内容						
このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。						
Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>ポリシーを使用したスマートライセンスで、次のキーワードと変数が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • authorization { request { add replace } <i>feature_name</i> { all local } return { all local } { offline [<i>path</i>] online } } • import <i>file_path</i> • save { trust-request <i>filepath_filename</i> usage { all days <i>days</i> rum-id <i>rum-ID</i> unreported } { file <i>file_path</i> } } • sync { all local } • trust idtoken <i>id_token_value</i> { local all } [force] <p>license smart コマンドの次のキーワードと変数は廃止され、CLI では使用できなくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • register idtoken <i>token_id</i> [force] • renew id { ID auth } • debug { error debug trace all } • mfg reservation { request install install file cancel } • conversion { start stop } 						

使用上のガイドライン

ポリシーを使用したスマートライセンスはデフォルトで有効になっています。特権 EXEC モードで **license smart** コマンドの **no** 形式は使用できません。

license smart factory reset を入力すると、承認コードや RUM レポートなど、すべてのスマートライセンス情報が製品インスタンスから削除されます。そのため、このコマンドは、製品インスタンスが返却される場合 (Return Material Authorization (RMA))、または永続的にデコミッションされる場合にのみ使用することを推奨します。また、ライセンス情報が製品インスタンスから削除される前に CSSM に RUM レポートを送信して、CSSM に最新の使用状況情報を含めることをお勧めします。

例

- 例：Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータにインストールされた SLAC (11 ページ)
- 例：Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータで返却された SLAC (11 ページ)

例 : Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータにインストールされた SLAC

license smart authorization request add コマンドの次の出力例は、Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータで SLAC が要求され、自動的にインストールされる方法を示しています。**show license authorization** に、インストール後の出力例を示します。

```
Device# license smart authorization request add hseck9 all
*Sep 23 17:41:10.938: %SMART_LIC-6-AUTHORIZATION_INSTALL_SUCCESS: A new licensing
authorization code
was successfully installed on PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
*Sep 23 17:41:12.929: %SMART_LIC-6-POLICY_INSTALL_SUCCESS: A new licensing policy was
successfully
installed

Device# show license authorization
Overall status:
  Active: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
Status: SMART AUTHORIZATION INSTALLED on Sep 23 17:41:10 2020 UTC
  Last Confirmation code: 5fd33d79

Authorizations:
  ISR_4331_Hsec (ISR_4331_Hsec):
    Description: U.S. Export Restriction Compliance license for 4330 series
    Total available count: 1
    Enforcement type: EXPORT RESTRICTED
    Term information:
      Active: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
      Authorization type: SMART AUTHORIZATION INSTALLED
      License type: PERPETUAL
      Term Count: 1

Purchased Licenses:
  No Purchase Information Available
```

例 : Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータで返却された SLAC

license smart authorization return コマンドの次の出力例は、Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータで SLAC がオンラインで返却される方法を示しています（オフラインで返却された場合は、ここに表示される戻りコードを返す必要があるため、CSSM に戻りコードを手動で入力します）。

```
Device# license smart authorization return all online

Enter this return code in Cisco Smart Software Manager portal:
UDI: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
Return code: CPo1Sb-CHcljc-dFu2Fj-R9qkZc-V46wAG-7KWxKB-8vmQgp-4xZAE4-BAS
*Sep 23 17:46:12.284: %SMART_LIC-6-AUTHORIZATION_REMOVED: A licensing authorization code
has been removed from PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6.
```

show license all

すべてのライセンス情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license all** コマンドを入力します。このコマンドは、ステータス、承認、UDI、および使用状況の情報をすべて組み合わせて表示します。

show license all

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (Device#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。
Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	コマンド出力が更新され、ポリシーを使用したスマートライセンスに関する情報が表示されるようになりました。 コマンド出力にスマートアカウントとバーチャルアカウントの情報が表示されなくなりました。

show license all (Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ)

次に、**show license all** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show license all

Smart Licensing Status
=====

Smart Licensing is ENABLED
License Reservation is ENABLED

Registration:
  Status: REGISTERED - SPECIFIC LICENSE RESERVATION
  Export-Controlled Functionality: ALLOWED
  Initial Registration: SUCCEEDED on Sep 23 22:08:22 2020 UTC

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED - RESERVED on Sep 23 22:08:22 2020 UTC

License Conversion:
  Automatic Conversion Enabled: False
  Status: Not started

Export Authorization Key:
  Features Authorized:
    <none>

Utility:
```

```
Status: DISABLED

Data Privacy:
  Sending Hostname: yes
  Callhome hostname privacy: DISABLED
  Smart Licensing hostname privacy: DISABLED
  Version privacy: DISABLED

Transport:
  Type: Callhome

Miscellaneous:
  Custom Id: <empty>

License Usage
=====

ISR_4400_Application (ISR_4400_Application):
  Description: AppX License for Cisco ISR 4400 Series
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: AUTHORIZED
  Export status: NOT RESTRICTED
  Reservation:
    Reservation status: SPECIFIC INSTALLED
    Total reserved count: 1

ISR_4400_UnifiedCommunication (ISR_4400_UnifiedCommunication):
  Description: Unified Communications License for Cisco ISR 4400 Series
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: AUTHORIZED
  Export status: NOT RESTRICTED
  Reservation:
    Reservation status: SPECIFIC INSTALLED
    Total reserved count: 1

ISR_4400_Security (ISR_4400_Security):
  Description: Security License for Cisco ISR 4400 Series
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: AUTHORIZED
  Export status: NOT RESTRICTED
  Reservation:
    Reservation status: SPECIFIC INSTALLED
    Total reserved count: 1

ISR_4431_1G_Performance (ISR_4431_1G_Performance):
  Description: Performance on Demand License for 4430 Series
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: AUTHORIZED
  Export status: NOT RESTRICTED
  Reservation:
    Reservation status: SPECIFIC INSTALLED
    Total reserved count: 1

hseck9 (ISR_4400_Hsec):
  Description: Export Controlled Feature hseck9
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: AUTHORIZED
  Export status: RESTRICTED - ALLOWED
  Feature Name: hseck9
```

```
Feature Description: Export Controlled Feature hseck9
Reservation:
  Reservation status: SPECIFIC EXPORT AUTHORIZATION KEY INSTALLED
  Total reserved count: UNLIMITED

Product Information
=====
UDI: PID:ISR4431/K9,SN:FOC21030CHG

Agent Version
=====
Smart Agent for Licensing: 4.11.5_rel/41

Reservation Info
=====
License reservation: ENABLED

Overall status:
Active: PID:ISR4431/K9,SN:FOC21030CHG
  Reservation status: SPECIFIC INSTALLED on Sep 23 22:08:22 2020 UTC
  Export-Controlled Functionality: ALLOWED
  Last Confirmation code: ea24d89a

Specified license reservations:
ISR_4400_Application (ISR_4400_Application):
  Description: AppX License for Cisco ISR 4400 Series
  Total reserved count: 1
  Term information:
    Active: PID:ISR4431/K9,SN:FOC21030CHG
    License type: PERPETUAL
    Term Count: 1
ISR_4400_Hsec (ISR_4400_Hsec):
  Description: U.S. Export Restriction Compliance license for 4400 series
  Total reserved count: 1
  Term information:
    Active: PID:ISR4431/K9,SN:FOC21030CHG
    License type: PERPETUAL
    Term Count: 1
ISR_4400_Security (ISR_4400_Security):
  Description: Security License for Cisco ISR 4400 Series
  Total reserved count: 1
  Term information:
    Active: PID:ISR4431/K9,SN:FOC21030CHG
    License type: PERPETUAL
    Term Count: 1
ISR_4400_UnifiedCommunication (ISR_4400_UnifiedCommunication):
  Description: Unified Communications License for Cisco ISR 4400 Series
  Total reserved count: 1
  Term information:
    Active: PID:ISR4431/K9,SN:FOC21030CHG
    License type: PERPETUAL
    Term Count: 1
ISR_4431_1G_Performance (ISR_4431_1G_Performance):
  Description: Performance on Demand License for 4430 Series
  Total reserved count: 1
  Term information:
    Active: PID:ISR4431/K9,SN:FOC21030CHG
    License type: PERPETUAL
    Term Count: 1
```

show license authorization

ライセンス（輸出規制および適用）の承認関連情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license authorization** コマンドを入力します。

show license authorization

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード	特権 EXEC (Device#)				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	このコマンドが導入されました。				

例

次に、さまざまなシスコ製品インスタンスでの **show license authorization** コマンドの出力例を示します。ディスプレイに表示されるフィールドについては、[表 1 : show license authorization のフィールドの説明 \(16 ページ\)](#) を参照してください。

- [Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータにおける HSECK9 \(19 ページ\)](#)

表 1: show license authorization のフィールドの説明

フィールド	説明
Overall Status	<p>設定内にあるすべての製品インスタンスの UDI 情報のヘッダー、インストールされている承認のタイプ、および設定エラー（存在する場合）。</p> <p>高可用性セットアップでは、設定内にあるすべての UDI がリストされます。</p>
Active: ステータス :	<p>アクティブ製品インスタンス UDI と、それに続いてこの UDI の承認コードインストールのステータス。</p> <p>承認コードがインストールされていることを示すステータスであり、確認コードがある場合は、これも表示されます。</p>
Standby: ステータス :	<p>スタンバイ製品インスタンス UDI と、それに続いてこの UDI の承認コードインストールのステータス。</p> <p>承認コードがインストールされていることを示すステータスであり、確認コードがある場合は、これも表示されます。</p>
Member: ステータス :	<p>メンバー製品インスタンス UDI と、それに続いてこの UDI の承認コードインストールのステータス。</p> <p>承認コードがインストールされていることを示すステータスであり、確認コードがある場合は、これも表示されます。</p>
ERROR:	高可用性セットアップの設定エラーまたは不一致（存在する場合）。

フィールド	説明
承認	<p>詳細なライセンス承認情報のヘッダー。すべてのライセンス、その適用タイプ、および有効期間が表示されます。承認またはモードがアクティブにインストールされているものと一致しない場合、製品インスタンスごとにエラーが表示されます。</p> <p>このセクションは、製品インスタンスがSLAC、SLR、PAK、RTUのいずれかの承認コードを必要とするライセンスを使用している場合にのみ表示されます。製品インスタンスにPLR承認コードがインストールされている場合、このセクションは表示されません。</p>
():	ライセンス名およびライセンス名の短縮形。
Description	ライセンスの説明。
Total available count:	<p>使用可能なライセンスの合計数。</p> <p>これには、高可用性セットアップのすべての製品インスタンスに関して、期限切れのサブスクリプションライセンスを含む、すべての期間のライセンス（永久ライセンスおよびサブスクリプション）が含まれます。</p>
Enforcement type	<p>ライセンスの適用タイプ。これは、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 適用 • 非適用 • 輸出規制 <p>適用タイプの詳細については、ライセンス執行（エンフォースメント）タイプを参照してください。</p>
Term information:	

フィールド	説明
	<p>ライセンス期間情報を提供するヘッダー。このヘッダーには、次のフィールドが含まれることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active : アクティブ製品インスタンス UDI と、それに続いてこの UDI の承認コードインストールのステータス。 • Authorization type : インストールされている承認コードのタイプとインストール日。タイプは、SLAC、UNIVERSAL、SPECIFIED、PAK、RTU です。 • Start Date : ライセンスが特定の期間または時間の場合に、有効期間の開始日を表示します。 • Start Date : ライセンスが特定の期間または時間の場合に、有効期間の終了日を表示します。 • Term Count : ライセンス数。 • Subscription ID : ライセンスが特定の期間または時間の場合に、ID を表示します。 • License type : ライセンス継続期間。これは、SUBSCRIPTION または PERPETUAL です。 • Standby : スタンバイ製品インスタンス UDI と、それに続いてこの UDI の承認コードインストールのステータス。

フィールド	説明												
	<p>• Member : メンバー製品インスタンス UDI と、それに続いてこの UDI の承認コードインストールのステータス。</p> <p>ライセンスの有効期間の詳細については、ライセンス継続期間 を参照してください。</p>												
Purchased Licenses	<p>ライセンス購入情報のヘッダー。</p> <table border="1" data-bbox="787 682 1524 1232"> <tr> <td data-bbox="787 682 1156 783">Active:</td> <td data-bbox="1156 682 1524 783">アクティブ製品インスタンスとその UDI。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="787 783 1156 846">Count:</td> <td data-bbox="1156 783 1524 846">ライセンス数。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="787 846 1156 909">Description:</td> <td data-bbox="1156 846 1524 909">ライセンスの説明。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="787 909 1156 1041">License type:</td> <td data-bbox="1156 909 1524 1041">ライセンス継続期間。これは、SUBSCRIPTION または PERPETUAL です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="787 1041 1156 1142">Standby:</td> <td data-bbox="1156 1041 1524 1142">スタンバイ製品インスタンスの UDI。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="787 1142 1156 1232">Member:</td> <td data-bbox="1156 1142 1524 1232">メンバー製品インスタンスの UDI。</td> </tr> </table>	Active:	アクティブ製品インスタンスとその UDI。	Count:	ライセンス数。	Description:	ライセンスの説明。	License type:	ライセンス継続期間。これは、SUBSCRIPTION または PERPETUAL です。	Standby:	スタンバイ製品インスタンスの UDI。	Member:	メンバー製品インスタンスの UDI。
Active:	アクティブ製品インスタンスとその UDI。												
Count:	ライセンス数。												
Description:	ライセンスの説明。												
License type:	ライセンス継続期間。これは、SUBSCRIPTION または PERPETUAL です。												
Standby:	スタンバイ製品インスタンスの UDI。												
Member:	メンバー製品インスタンスの UDI。												

Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータにおける HSECK9

次の **show license authorization** コマンドの出力例は、Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータに SLAC がインストールされた輸出規制ライセンス (HSECK9) を示しています。

```

Device# show license authorization

Overall status:
  Active: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
Status: SMART AUTHORIZATION INSTALLED on Sep 23 17:41:10 2020 UTC
  Last Confirmation code: 5fd33d79

Authorizations:
  ISR_4331_Hsec (ISR_4331_Hsec):
    Description: U.S. Export Restriction Compliance license for 4330 series
    Total available count: 1
    Enforcement type: EXPORT RESTRICTED
  Term information:
    Active: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
    Authorization type: SMART AUTHORIZATION INSTALLED
    
```

```
License type: PERPETUAL
Term Count: 1
```

```
Purchased Licenses:
No Purchase Information Available
```

show license data

ライセンスデータ変換情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license data** コマンドを入力します。

show license data conversion

構文の説明

conversion ライセンス変換に関する情報を表示します。

コマンドモード

特権 EXEC (Device#)

コマンド履歴

リリース

変更内容

このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。このコマンドが導入されました。

show license data translation

次に、**show license data conversion** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show license data conversion
Smart Licensing Data - Conversion
=====
```

```
=====
```

show license eventlog

ポリシーを使用したスマートライセンスに関連するイベントログを表示するには、特権 EXEC モードで **show license eventlog** コマンドを入力します。

show license eventlog [days]

構文の説明

days イベントログを表示する日数を入力します。0 ~ 2147483647 の範囲の値を指定できます。

コマンドモード

特権 EXEC (Device#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。
	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>ポリシーを使用したスマートライセンスの導入により、次のイベントが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポリシーのインストールと削除。 • 承認コードの要求、インストール、および削除。 • 信頼コードのインストールと削除。 • ライセンス使用状況に関する承認ソース情報の追加。

例

- [例：1 日分のイベントログ \(21 ページ\)](#)
- [例：すべてのイベントログ \(22 ページ\)](#)

例：1 日分のイベントログ

次に、**show license eventlog** コマンドの出力例を示します。このコマンドは、1 日分のイベントを表示するように設定されています。

```
Device# show license eventlog 1

Load for five secs: 0%/0%; one minute: 0%; five minutes: 0%
No time source, 12:50:20.640 EDT Fri Sep 11 2020

**** Event Log ****

2020-09-11 00:50:17.693 EDT SAEVT_PLATFORM eventSource="INFRA_SL"
eventName="INFRA_SL_EVLOG_ERM_RESET" MSG="ERM-Reset: Client 0, AP-GROUP group, 2 features
air-network-advantage,air-dna-advantage"
2020-09-11 00:50:17.695 EDT SAEVT_ENDPOINT_USAGE count="0"
entitlementTag="regid.2018-06.com.cisco.DNA_NWStack,1.0_e7244e71-3ad5-4608-8bf0-d12f67c80896"
2020-09-11 00:50:17.695 EDT SAEVT_ENDPOINT_USAGE count="0"
entitlementTag="regid.2017-08.com.cisco.AIR-DNA-A,1.0_b6308627-3ab0-4a11-a3d9-586911a0d790"
2020-09-11 00:50:50.175 EDT SAEVT_POLL_MESSAGE messageType="LICENSE_USAGE"
2020-09-11 08:50:17.694 EDT SAEVT_PLATFORM eventSource="INFRA_SL"
eventName="INFRA_SL_EVLOG_ERM_RESET" MSG="ERM-Reset: Client 0, AP-GROUP group, 2 features
air-network-advantage,air-dna-advantage"
2020-09-11 08:50:17.696 EDT SAEVT_ENDPOINT_USAGE count="0"
entitlementTag="regid.2018-06.com.cisco.DNA_NWStack,1.0_e7244e71-3ad5-4608-8bf0-d12f67c80896"
2020-09-11 08:50:17.696 EDT SAEVT_ENDPOINT_USAGE count="0"
entitlementTag="regid.2017-08.com.cisco.AIR-DNA-A,1.0_b6308627-3ab0-4a11-a3d9-586911a0d790"
2020-09-11 08:50:52.804 EDT SAEVT_POLL_MESSAGE messageType="LICENSE_USAGE"
```

例：すべてのイベントログ

次に、**show license eventlog** コマンドの出力例を示します。このコマンドは、すべてのイベントを表示するように設定されています。

```
Device# show license eventlog
**** Event Log ****

2020-09-22 20:23:27.699 UTC SAEVT_INIT_START version="4.13.23_rel/62"
2020-09-22 20:23:27.701 UTC SAEVT_INIT_CRYPT0 success="False" error="Crypto Initialization
  has not been completed"
2020-09-22 20:23:27.702 UTC SAEVT_HA_EVENT eventType="SmartAgentEvtHarmfRegister"
2020-09-22 20:23:32.840 UTC SAEVT_READY
2020-09-22 20:23:32.841 UTC SAEVT_ENABLED
2020-09-22 20:23:33.455 UTC SAEVT_EXPORT_FLAG exportAllowed="False"
2020-09-22 20:23:35.806 UTC SAEVT_HA_EVENT eventType="SmartAgentEvtHarmfInitialize"
2020-09-22 20:23:35.815 UTC SAEVT_HA_CHASSIS_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
2020-09-22 20:23:35.816 UTC SAEVT_HA_EVENT eventType="SmartAgentEvtHachkptRegister"
2020-09-22 20:23:49.682 UTC SAEVT_HA_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
haRole="Active"
2020-09-22 20:23:49.735 UTC SAEVT_HA_CHASSIS_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
haRole="Active"
2020-09-22 20:23:49.737 UTC SAEVT_HA_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
haRole="Active"
2020-09-22 20:23:50.043 UTC SAEVT_INIT_CONFIG_READ_BEGIN
2020-09-22 20:23:54.353 UTC SAEVT_INIT_CONFIG_READ_DONE
2020-09-22 20:23:55.112 UTC SAEVT_INIT_SYSTEM_INIT
2020-09-22 20:23:56.114 UTC SAEVT_INIT_CRYPT0 success="False" error="Crypto Initialization
  has not been completed"
2020-09-22 20:24:26.120 UTC SAEVT_INIT_CRYPT0 success="True"
2020-09-22 20:24:26.133 UTC SAEVT_COMM_RESTORED
2020-09-22 20:24:26.402 UTC SAEVT_INIT_COMPLETE
2020-09-22 20:25:26.132 UTC SAEVT_PRIVACY_CHANGED enabled="True"
2020-09-22 20:31:34.912 UTC SAEVT_HOSTNAME_CHANGE
2020-09-22 20:35:30.873 UTC SAEVT_CONFIG_PERSISTED
2020-09-22 20:39:27.795 UTC SAEVT_INIT_START version="4.13.23_rel/62"
2020-09-22 20:39:27.798 UTC SAEVT_INIT_CRYPT0 success="False" error="Crypto Initialization
  has not been completed"
2020-09-22 20:39:27.798 UTC SAEVT_HA_EVENT eventType="SmartAgentEvtHarmfRegister"
2020-09-22 20:39:33.333 UTC SAEVT_READY
2020-09-22 20:39:33.334 UTC SAEVT_ENABLED
2020-09-22 20:39:33.914 UTC SAEVT_EXPORT_FLAG exportAllowed="False"
2020-09-22 20:39:36.300 UTC SAEVT_HA_EVENT eventType="SmartAgentEvtHarmfInitialize"
2020-09-22 20:39:36.311 UTC SAEVT_HA_CHASSIS_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
2020-09-22 20:39:36.312 UTC SAEVT_HA_EVENT eventType="SmartAgentEvtHachkptRegister"
2020-09-22 20:39:52.391 UTC SAEVT_TAG_EXPORT exportAllowed="False" count="0"
entitlementTag="regid.2015-02.com.cisco.ISR_4331_Hsec,1.0_7998f136-248d-4ee9-94be-2b561c04a51e"
2020-09-22 20:39:53.058 UTC SAEVT_HA_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
haRole="Active"
2020-09-22 20:39:53.300 UTC SAEVT_HA_CHASSIS_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
haRole="Active"
2020-09-22 20:39:53.300 UTC SAEVT_HA_ROLE udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"
haRole="Active"
2020-09-22 20:39:55.146 UTC SAEVT_INIT_CONFIG_READ_BEGIN
2020-09-22 20:40:01.700 UTC SAEVT_TAG_AUTHORIZED count="1"
entitlementTag="regid.2017-05.com.cisco.ISR_4331_BOOST,1.0_d5ca3d93-a3a9-480d-98f7-c7b06ddcc973"
2020-09-22 20:40:01.704 UTC SAEVT_HOSTNAME_CHANGE
2020-09-22 20:40:02.140 UTC SAEVT_TAG_AUTHORIZED count="1"
entitlementTag="regid.2015-01.com.cisco.ISR_4331_Application,1.0_4dd5e243-4754-4fed-b8aa-cdd9ff0e82c0"
2020-09-22 20:40:02.142 UTC SAEVT_PLATFORM eventSource="INFRA_SL"
eventName="INFRA_SL_EVLOG_LICENSE_REQUEST" MSG="License appxk9, dev ISR4331, count 1,
reslt 0, alt 0"
```

```

2020-09-22 20:40:02.374 UTC SAEVT_TAG_AUTHORIZED count="1"
entitlementTag="regid.2014-12.com.cisco.ISR_4331_UnifiedCommunication,1.0_fc59e79d-8a80-469b-b1fb-0307e6e76108"
2020-09-22 20:40:02.376 UTC SAEVT_PLATFORM eventSource="INFRA_SL"
eventName="INFRA_SL_EVLOG_LICENSE_REQUEST" MSG="License uck9, dev ISR4331, count 1, reslt
0, alt 0"
2020-09-22 20:40:02.608 UTC SAEVT_TAG_AUTHORIZED count="1"
entitlementTag="regid.2014-12.com.cisco.ISR_4331_Security,1.0_dba7c7eb-f2b3-4824-9690-10e46d998fa5"
2020-09-22 20:40:02.610 UTC SAEVT_PLATFORM eventSource="INFRA_SL"
eventName="INFRA_SL_EVLOG_LICENSE_REQUEST" MSG="License securityk9, dev ISR4331, count
1, reslt 0, alt 0"
2020-09-22 20:40:02.651 UTC SAEVT_INIT_CONFIG_READ_DONE
2020-09-22 20:40:03.445 UTC SAEVT_INIT_SYSTEM_INIT
2020-09-22 20:40:04.456 UTC SAEVT_INIT_CRYPTO success="False" error="Crypto Initialization
has not been completed"
2020-09-22 20:40:34.458 UTC SAEVT_INIT_CRYPTO success="True"
2020-09-22 20:40:34.461 UTC SAEVT_COMM_RESTORED
2020-09-22 20:40:34.739 UTC SAEVT_INIT_COMPLETE
2020-09-22 20:41:34.459 UTC SAEVT_PRIVACY_CHANGED enabled="True"
2020-09-22 20:41:39.216 UTC SAEVT_INIT_CRYPTO success="True"
2020-09-22 20:42:35.750 UTC SAEVT_UTILITY_REPORT_START
2020-09-22 20:42:36.725 UTC SAEVT_UTILITY_RUM_FAIL error="[CSSM_ACCOUNT_ACCESS_DENIED]
Smart Account access denied, user has no permission."
2020-09-22 21:33:20.102 UTC SAEVT_UTILITY_RUM_FAIL error="[ERROR_CSSMCONN_PING_ERR] CSLU
could not connect to the Cisco network. Please check your network settings."
2020-09-22 21:36:21.869 UTC SAEVT_POLL_MESSAGE messageType="LICENSE_USAGE"
2020-09-23 00:07:15.577 UTC SAEVT_UTILITY_RUM_FAIL error="[ERROR_CSSMCONN_API] CSSM
connector API failed"
2020-09-23 06:25:36.828 UTC SAEVT_POLL_MESSAGE messageType="LICENSE_USAGE"
2020-09-23 16:23:05.822 UTC SAEVT_POLL_MESSAGE messageType="LICENSE_USAGE"
2020-09-23 16:31:11.018 UTC SAEVT_POLL_MESSAGE messageType="LICENSE_USAGE"
2020-09-23 17:41:10.921 UTC SAEVT_RESERVE_INSTALL_START udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"

Export Restriction Compliance license for 4330
2020-09-23 17:41:10.937 UTC SAEVT_TAG_EXPORT exportAllowed="False" count="0"
entitlementTag="regid.2015-02.com.cisco.ISR_4331_Hsec,1.0_7998f136-248d-4ee9-94be-2b561c04a51e"
2020-09-23 17:41:10.965 UTC SAEVT_TAG_EXPORT exportAllowed="True" count="0"
entitlementTag="regid.2015-02.com.cisco.ISR_4331_Hsec,1.0_7998f136-248d-4ee9-94be-2b561c04a51e"
2020-09-23 17:41:11.965 UTC SAEVT_STATE_RESERVE_AUTHORIZED
2020-09-23 17:46:12.269 UTC SAEVT_RESERVE_RETURN_START udi="PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6"

Export Restriction Compliance license for 4330
2020-09-23 17:46:12.283 UTC SAEVT_TAG_EXPORT exportAllowed="False" count="0"
entitlementTag="regid.2015-02.com.cisco.ISR_4331_Hsec,1.0_7998f136-248d-4ee9-94be-2b561c04a51e"

```

show license history message

製品インスタンスと CSSM または CSLU（該当する場合）の間の通信履歴を表示するには、特権 EXEC モードで **show license history message** コマンドを入力します。このコマンドの出力は、テクニカルサポートチームがトラブルシューティングに使用します。

show license history message

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード	特権 EXEC (Device#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 このコマンドが導入されました。	

使用上のガイドライン 解決できないエラーメッセージが表示された場合は、コンソールまたはシステムログに表示されるメッセージとともに、シスコのテクニカルサポート担当者に **show license tech support**、**show license history message**、および **show platform software sl-infra** 特権 EXEC コマンドの出力例を提供してください。

show license reservation

ライセンス予約情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license reservation** コマンドを入力します。



(注) Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 以降では、**show license reservation** の代わりに **show license authorization** コマンドを使用して、使用前に承認が必要なライセンスの情報を表示します。

show license reservation

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード	特権 EXEC (Device#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。
	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	コマンドは引き続き使用できますが、ポリシーを使用したスマートライセンスの導入により、SLR および PLR ライセンスには適用されなくなりました。代わりに、特権 EXEC モードで show license authorization コマンドを使用してください。

show license status

ライセンスステータス情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license status** コマンドを入力します。

show license status

コマンドモード	特権 EXEC (Device#)	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。
	Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>コマンド出力が更新され、ポリシーを使用したスマートライセンスに適用可能な新しいフィールドが反映されました。これには、Trust code installed:、Policy in use、Policy name:、ポリシーと同様のレポート要件 (Attributes:) および使用状況レポートに関連するフィールドが含まれます。</p> <p>コマンド出力にスマートアカウントとバーチャルアカウントの情報が表示されなくなりました。</p>

例

次に、さまざまなシスコ製品インスタンスでの **show license status** コマンドの出力例を示します。ディスプレイに表示されるフィールドについては、[表 2 : show license status のフィールドの説明 \(26 ページ\)](#) を参照してください。

- [例 : Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータでの show license status \(33 ページ\)](#)

表 2: show license status のフィールドの説明

フィールド	説明	
Utility	製品インスタンスで設定されているユーティリティ設定のヘッダー。	
	Status:	ステータス
	Utility report:	最後の試行結果 :
	Customer Information:	次のフィールドが表示されま ず。 <ul style="list-style-type: none"> • ID: • Name: • Street • City: • State: • Country: • Postal Code:
SLE Policy:	製品インスタンスのポリシー設定のヘッダー。	
	Status:	ポリシーを使用したスマート ライセンシングが有効になっ ているかどうかを示します。 ポリシーを使用したスマート ライセンシングは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 以降でサ ポートされ、サポートされて いるソフトウェアイメージで は常に有効になっています。

フィールド	説明
Data Privacy:	製品インスタンスで設定されているプライバシー設定のヘッダー。
Sending Hostname:	ホスト名が使用状況レポートで送信されるかどうかを示す <i>yes</i> または <i>no</i> の値。
Callhome hostname privacy:	Call Home 機能がレポートの転送モードとして設定されているかどうかを示します。設定されている場合、次のいずれかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED • DISABLED
Smart Licensing hostname privacy:	次のいずれかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED • DISABLED
Version privacy:	次のいずれかの値が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED • DISABLED
Transport:	製品インスタンスで設定されているトランスポート設定のヘッダー。
Type:	使用中の転送モード。 特定の転送モードでは、追加のフィールドが表示されます。たとえば、通信タイプが CSLU に設定されている場合、CSLU アドレスも表示されます。

フィールド	説明	
Policy:	製品インスタンスに適用されるポリシー情報のヘッダー。	
	Policy in use:	適用されるポリシー。 これは、Cisco default、Product default、Permanent License Reservation、Specific License Reservation、PAK license、Installed on <date>、Controller のいずれかです。
	Policy name:	ポリシーの名前。
	Reporting ACK required:	この製品インスタンスのレポートに CSSM 確認応答 (ACK) が必要かどうかを指定する <i>yes</i> または <i>no</i> の値。デフォルトポリシーは常に「yes」に設定されます。
	Perpetual Attributes	永久ライセンスのポリシー値。 <ul style="list-style-type: none"> • 最初のレポート要件 (日) : 最初のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後にポリシー名が続きます。 • レポート頻度 (日) : 次のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後にポリシー名が続きます。 • 変化レポート (日) : ライセンスの使用状況が変化した場合にレポートを送信できる最大時間。その後にポリシー名が続きます。
Subscription Attributes:		

フィールド	説明
	<p>サブスクリプション ライセンスのポリシー値。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初のレポート要件 (日) : 最初のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後ポリシー名が続きます。 レポート頻度 (日) : 次のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後ポリシー名が続きます。 変化レポート (日) : ライセンスの使用状況が変化した場合にレポートを送信できる最大時間。その後ポリシー名が続きます。
Enforced License Attributes:	<p>サブスクリプション ライセンスのポリシー値。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初のレポート要件 (日) : 最初のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後ポリシー名が続きます。 レポート頻度 (日) : 次のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後ポリシー名が続きます。 変化レポート (日) : ライセンスの使用状況が変化した場合にレポートを送信できる最大時間。その後ポリシー名が続きます。
Export License Attributes:	

フィールド	説明	
	<p>サブスクリプション ライセンスのポリシー値。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最初のレポート要件 (日) : 最初のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後ポリシー名が続きます。 • レポート頻度 (日) : 次のレポートを送信するまでに使用可能な最大時間。その後ポリシー名が続きます。 • 変化レポート (日) : ライセンスの使用状況が変化した場合にレポートを送信できる最大時間。その後ポリシー名が続きます。 	
Miscellaneous	カスタム ID のヘッダー。	
	Custom Id:	ID

フィールド	説明	
Usage Reporting:	使用状況レポート (RUM レポート) 情報のヘッダー。	
	Last ACK received:	最後に受信した ACK の日時 (ローカルタイムゾーン)。
	Next ACK deadline:	次の ACK の日時。ACK が不要であることがポリシーで示されている場合、このフィールドには none と表示されます。 (注) ACKが必要で、この期限までに受信されない場合、syslog が表示されます。
	Reporting Interval:	日単位のレポート間隔。 ここに表示される値は、 license smart usage intervalinterval_in_days とポリシー値の設定によって異なります。詳細については、 license smart (グローバル コンフィギュレーション) (1 ページ) で対応する構文の説明を参照してください。
	Next ACK push check:	製品インスタンスが ACK の次のポーリング要求を送信する日時。日時はローカルタイムゾーンで表示されます。 これは、CSSM または CSLU への製品インスタンスによって開始された通信にのみ適用されます。レポート間隔がゼロの場合、または ACK ポーリングが保留されていない場合、このフィールドには none と表示されます。
Next report push:		

フィールド	説明
	製品インスタンスが次のRUMレポートを送信する日時。日時はローカルタイムゾーンで表示されます。レポート間隔がゼロの場合、または保留中のRUMレポートがない場合、このフィールドには none と表示されます。
Last report push:	製品インスタンスが最後のRUMレポートを送信した日時。日時はローカルタイムゾーンで表示されます。
Last report file write:	製品インスタンスが最後にオフラインRUMレポートを保存した日時。日時はローカルタイムゾーンで表示されます。
Last report pull:	データモデルを使用して使用状況レポート情報が取得された日時。日時はローカルタイムゾーンで表示されます。
Trust Code Installed:	<p>信頼コード関連情報のヘッダー。</p> <p>信頼コードがインストールされている場合は、日時が表示されます。日時はローカルタイムゾーンで表示されます。</p> <p>信頼コードがインストールされていない場合、このフィールドには none と表示されます。</p>
Active:	<p>アクティブ製品インスタンス。</p> <p>高可用性セットアップでは、セットアップ内のすべての製品インスタンスのUDIと、対応する信頼コードのインストール日時が表示されます。</p>
Standby:	スタンバイ製品インスタンス。
Member:	メンバー製品インスタンス

例：Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータでの show license status

次に、**show license status** コマンドの出力例を示します。カスタムポリシーを適用しません。

```
Device# show license status
Sword#show license status
Utility:
  Status: DISABLED

SLE Policy:
  Status: ENABLED

Data Privacy:
  Sending Hostname: yes
  Callhome hostname privacy: DISABLED
  Smart Licensing hostname privacy: DISABLED
  Version privacy: DISABLED

Transport:
  Type: cslu
  Cslu address: http://192.168.0.1:8182/cslu/v1/pi
  Proxy:
    Not Configured

Policy:
  Policy in use: Installed On Sep 23 17:51:50 2020 UTC
  Policy name: Test Policy-13apr
  Reporting ACK required: yes (Customer Policy)
  Perpetual Attributes:
    First report requirement (days): 25 (Customer Policy)
    Reporting frequency (days): 25 (Customer Policy)
    Report on change (days): 25 (Customer Policy)
  Subscription Attributes:
    First report requirement (days): 15 (Customer Policy)
    Reporting frequency (days): 15 (Customer Policy)
    Report on change (days): 15 (Customer Policy)
  Enforced License Attributes:
    First report requirement (days): 90 (CISCO default)
    Reporting frequency (days): 35 (Customer Policy)
    Report on change (days): 35 (Customer Policy)
  Export License Attributes:
    First report requirement (days): 90 (CISCO default)
    Reporting frequency (days): 30 (Customer Policy)
    Report on change (days): 30 (Customer Policy)

Miscellaneous:
  Custom Id: <empty>

Usage Reporting:
  Last ACK received: Sep 23 16:35:10 2020 UTC
  Next ACK deadline: Oct 18 16:35:10 2020 UTC
  Reporting push interval: 25 days
  Next ACK push check: Sep 23 17:52:59 2020 UTC
  Next report push: Sep 23 17:52:58 2020 UTC
  Last report push: Sep 23 16:31:12 2020 UTC
  Last report file write: <none>

Trust Code Installed: <none>
```

show license summary

使用されているライセンス、カウント、およびステータスに関する情報を含む、ライセンス使用状況の概要を表示するには、特権 EXEC モードで **show license summary** コマンドを入力します。

show license summary

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (Device#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。
Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>コマンド出力が更新され、ポリシーを使用したスマートライセンスの有効なライセンスステータスが反映されました。有効なライセンスステータスには、IN USE、NOT IN USE、NOT AUTHORIZED などがあります。</p> <p>コマンド出力が更新され、登録および承認情報が削除されました。</p> <p>コマンド出力にスマートアカウントとバーチャルアカウントの情報が表示されなくなりました。</p>

例

次に、さまざまなシスコ製品インスタンスでの **show license summary** コマンドの出力例を示します。ディスプレイに表示されるフィールドについては、[表 3 : show license summary のフィールドの説明 \(34 ページ\)](#) を参照してください。

- 例 : **show license summary** : すべて IN USE (Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ) (35 ページ)

表 3 : **show license summary** のフィールドの説明

フィールド	説明
License	使用中のライセンスの名前
Entitlement Tag	ライセンスの短縮名
Count	ライセンス数

フィールド	説明
Status	<p>ライセンスのステータスは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • In-Use : 有効なライセンスかつ使用中。 • Not In-Use • Not Authorized : ライセンスを使用する前に SLAC のインストールが必要であることを意味します。詳細については、承認コードを参照してください。

例 : **show license summary** : すべて IN USE (Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ)

次に、すべてのライセンスが使用中である場合の **show license summary** コマンドの出力例を示します。

Devide# **show license summary**

Sword#show license summary

License Usage:

License	Entitlement tag	Count	Status
hseck9	(ISR_4331_Hsec)	1	IN USE
booster_performance	(ISR_4331_BOOST)	1	IN USE
appxk9	(ISR_4331_Application)	1	IN USE
uck9	(ISR_4331_UnifiedCommun...)	1	IN USE
securityk9	(ISR_4331_Security)	1	IN USE

show license tech

テクニカルサポートチーム用にライセンス情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license tech** コマンドを入力します。このコマンドの出力には、他のいくつかの **show license** コマンドの出力などが含まれます。

show license tech { data { conversion } | eventlog [{days}] | reservation | support }

構文の説明

data { conversion } ライセンスデータ変換情報を表示します。

eventlog [{days}] ポリシーを使用したスマートライセンスに関連するイベントログを表示します。

days には、イベントログを表示する日数を入力します。0 ~ 2147483647 の範囲の値を指定できます。

reservation ライセンス予約情報を表示します。

support テクニカルサポートチームが問題をデバッグするのに役立つライセンス情報を表示します。

コマンドモード

特権 EXEC (Device#)

コマンド履歴

リリース

変更内容

このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。

Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2。

このコマンドが導入されました。
 コマンド出力が更新され、ポリシーを使用したスマートライセンスに適用可能な新しいフィールドが反映されました。

例

次に、さまざまなシスコ製品インスタンスでの **show license tech support** コマンドの出力例を示します。

- [例：Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータでの show license tech support \(36 ページ\)](#)

例：Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータでの show license tech support

次に、**show license tech support** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show license tech support
Smart Licensing Tech Support info

Smart Licensing Status
=====

Smart Licensing is ENABLED

License Conversion:
  Automatic Conversion Enabled: False
  Status: Not started

Export Authorization Key:
  Features Authorized:
    <none>

Utility:
  Status: DISABLED

SLE Policy:
  Status: ENABLED

Data Privacy:
  Sending Hostname: yes
  Callhome hostname privacy: DISABLED
  Smart Licensing hostname privacy: DISABLED
  Version privacy: DISABLED
```

```
Transport:
  Type: cslu
  Cslu address: http://10.195.85.83:8182/cslu/v1/pi
  Proxy:
    Address: <empty>
    Port: <empty>
    Username: <empty>
    Password: <empty>
  Server Identity Check: False

Miscellaneous:
  Custom Id: <empty>

Policy:
  Policy in use: Installed On Sep 23 17:51:50 2020 UTC
  Policy name: Test Policy-13apr
  Reporting ACK required: yes (Customer Policy)
  Perpetual Attributes:
    First report requirement (days): 25 (Customer Policy)
    Reporting frequency (days): 25 (Customer Policy)
    Report on change (days): 25 (Customer Policy)
  Subscription Attributes:
    First report requirement (days): 15 (Customer Policy)
    Reporting frequency (days): 15 (Customer Policy)
    Report on change (days): 15 (Customer Policy)
  Enforced License Attributes:
    First report requirement (days): 90 (CISCO default)
    Reporting frequency (days): 35 (Customer Policy)
    Report on change (days): 35 (Customer Policy)
  Export License Attributes:
    First report requirement (days): 90 (CISCO default)
    Reporting frequency (days): 30 (Customer Policy)
    Report on change (days): 30 (Customer Policy)

Usage Reporting:
  Last ACK received: Sep 23 16:35:10 2020 UTC
  Next ACK deadline: Oct 18 16:35:10 2020 UTC
  Reporting push interval: 25 days State(4) InPolicy(25)
  Next ACK push check: Sep 23 17:56:59 2020 UTC
  Next report push: Oct 18 17:53:00 2020 UTC
  Last report push: Sep 23 17:53:00 2020 UTC
  Last report file write: <none>

License Usage
=====
Handle: 1
  License: hseck9
  Entitlement tag:
  regid.2015-02.com.cisco.ISR_4331_Hsec,1.0_7998f136-248d-4ee9-94be-2b561c04a51e
  Description: hseck9
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: IN USE(15)
  Status time: Sep 23 17:52:27 2020 UTC
  Request Time: Sep 23 17:52:28 2020 UTC
  Export status: RESTRICTED - ALLOWED
  Feature Name: hseck9
  Feature Description: hseck9
  Measurements:
    ENTITLEMENT:
      Interval: 00:15:00
      Current Value: 1

Handle: 2
```

```
License: booster_performance
Entitlement tag:
regid.2017-05.com.cisco.ISR_4331_BOOST,1.0_d5ca3d93-a3a9-480d-98f7-c7b06ddcc973
Description: booster_performance
Count: 1
Version: 1.0
Status: IN USE(15)
Status time: Sep 22 20:40:01 2020 UTC
Request Time: Sep 22 20:40:01 2020 UTC
Export status: NOT RESTRICTED
Feature Name: booster_performance
Feature Description: booster_performance
Measurements:
  ENTITLEMENT:
    Interval: 00:15:00
    Current Value: 1
  Soft Enforced: True

Handle: 3
License: appxk9
Entitlement tag:
regid.2015-01.com.cisco.ISR_4331_Application,1.0_4dd5e243-4754-4fed-b8aa-cdd9ff0e82c0
Description: appxk9
Count: 1
Version: 1.0
Status: IN USE(15)
Status time: Sep 22 20:40:02 2020 UTC
Request Time: Sep 22 20:40:02 2020 UTC
Export status: NOT RESTRICTED
Feature Name: appxk9
Feature Description: appxk9
Measurements:
  ENTITLEMENT:
    Interval: 00:15:00
    Current Value: 1
  Soft Enforced: True

Handle: 4
License: uck9
Entitlement tag:
regid.2014-12.com.cisco.ISR_4331_UnifiedCommunication,1.0_fc59e79d-8a80-469b-b1fb-0307e6e76108

Description: uck9
Count: 1
Version: 1.0
Status: IN USE(15)
Status time: Sep 22 20:40:02 2020 UTC
Request Time: Sep 22 20:40:02 2020 UTC
Export status: NOT RESTRICTED
Feature Name: uck9
Feature Description: uck9
Measurements:
  ENTITLEMENT:
    Interval: 00:15:00
    Current Value: 1
  Soft Enforced: True

Handle: 5
License: securityk9
Entitlement tag:
regid.2014-12.com.cisco.ISR_4331_Security,1.0_dba7c7eb-f2b3-4824-9690-10e46d998fa5
Description: securityk9
Count: 1
Version: 1.0
```

```
Status: IN USE(15)
Status time: Sep 22 20:40:02 2020 UTC
Request Time: Sep 22 20:40:02 2020 UTC
Export status: NOT RESTRICTED
Feature Name: securityk9
Feature Description: securityk9
Measurements:
  ENTITLEMENT:
    Interval: 00:15:00
    Current Value: 1
    Soft Enforced: True

Product Information
=====
UDI: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6

Agent Version
=====
Smart Agent for Licensing: 4.13.23_rel/62

Upcoming Scheduled Jobs
=====
Current time: Sep 23 17:53:15 2020 UTC
Daily: Sep 23 20:39:35 2020 UTC (2 hours, 46 minutes, 20 seconds remaining)
Authorization Renewal: Expired Not Rescheduled
Init Flag Check: Expired Not Rescheduled
Reservation configuration mismatch between nodes in HA mode: Expired Not Rescheduled
Retrieve data processing result: Sep 23 17:56:59 2020 UTC (3 minutes, 44 seconds remaining)
Start Utility Measurements: Sep 23 18:07:59 2020 UTC (14 minutes, 44 seconds remaining)
Send Utility RUM reports: Oct 18 17:52:59 2020 UTC (24 days, 23 hours, 59 minutes, 44
seconds remaining)
Save unreported RUM Reports: Sep 23 17:53:29 2020 UTC (14 seconds remaining)
Process Utility RUM reports: Sep 24 06:25:37 2020 UTC (12 hours, 32 minutes, 22 seconds
remaining)
Authorization Code Process: Expired Not Rescheduled
Authorization Confirmation Code Process: Expired Not Rescheduled
Authorization Return Code Process: Expired Not Rescheduled
External Event: Oct 18 16:35:09 2020 UTC (24 days, 22 hours, 41 minutes, 54 seconds
remaining)
Operational Model: Expired Not Rescheduled

Communication Statistics:
=====
Communication Level Allowed: INDIRECT
Overall State: <empty>
Trust Establishment:
  Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0  Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: <none>
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: <none>
  Last Failure Time: <none>
Trust Acknowledgement:
  Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0  Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: <none>
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: <none>
  Last Failure Time: <none>
Usage Reporting:
  Attempts: Total=8, Success=5, Fail=3  Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: OK_POLL on Sep 23 17:52:59 2020 UTC
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: Sep 23 17:52:59 2020 UTC
  Last Failure Time: Sep 23 00:07:15 2020 UTC
Result Polling:
```

```

Attempts: Total=284, Success=280, Fail=4 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: OK_POLL on Sep 23 17:53:00 2020 UTC
  Failure Reason: <none>
Last Success Time: Sep 23 17:53:00 2020 UTC
Last Failure Time: Sep 23 10:07:47 2020 UTC
Authorization Request:
  Attempts: Total=2, Success=2, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: OK on Sep 23 17:51:50 2020 UTC
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: Sep 23 17:51:50 2020 UTC
  Last Failure Time: <none>
Authorization Confirmation:
  Attempts: Total=2, Success=2, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: OK on Sep 23 17:51:52 2020 UTC
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: Sep 23 17:51:52 2020 UTC
  Last Failure Time: <none>
Authorization Return:
  Attempts: Total=1, Success=1, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: OK on Sep 23 17:46:19 2020 UTC
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: Sep 23 17:46:19 2020 UTC
  Last Failure Time: <none>
Trust Sync:
  Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: <none>
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: <none>
  Last Failure Time: <none>
Hello Message:
  Attempts: Total=8, Success=8, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
  Last Response: OK on Sep 23 17:52:58 2020 UTC
  Failure Reason: <none>
  Last Success Time: Sep 23 17:52:58 2020 UTC
  Last Failure Time: <none>

License Certificates
=====
Production Cert: False
Not registered. No certificates installed

HA Info
=====
RP Role: Active
Chassis Role: Active
Behavior Role: Active
RMF: True
CF: True
CF State: Stateless
Message Flow Allowed: True

Reservation Info
=====
License reservation: DISABLED

Overall status:
  Active: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
  Reservation status: SMART AUTHORIZATION INSTALLED on Sep 23 17:51:48 2020 UTC
  Request code: <none>
  Last return code: <none>
  Last Confirmation code: 7e0f9388
  Reservation authorization code:
  License reservation: Disabled on Sep 23 17:51:48 2020 UTC
  Export Restriction Compliance license for 4330

```



```

s/<script>type=HTML/</script>/<title>/</title>/<title>/</title>/</script>
s/<script>type=HTML/</script>/<title>/</title>/<title>/</title>/</script>

Authorizations:
  ISR_4331_Hsec (ISR_4331_Hsec):
    Description: U.S. Export Restriction Compliance license for 4330 series
    Total available count: 1
    Enforcement type: EXPORT RESTRICTED
    Term information:
      Active: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
      Authorization type: SMART AUTHORIZATION INSTALLED
      License type: PERPETUAL
      Start Date: <none>
      End Date: <none>
      Term Count: 1
      Subscription ID: <none>

Purchased Licenses:
  No Purchase Information Available

Last Reporting Not Required:
  Entitlement
tag:regid.2017-05.com.cisco.ISR_4331_BOOST,1.0_d5ca3d93-a3a9-480d-98f7-c7b06ddcc973
  Entitlement
tag:regid.2015-01.com.cisco.ISR_4331_Application,1.0_4dd5e243-4754-4fed-b8aa-cdd9ff0e82c0

  Entitlement
tag:regid.2014-12.com.cisco.ISR_4331_UnifiedCommunication,1.0_fc59e79d-8a80-469b-b1fb-0307e6e76108

  Entitlement
tag:regid.2014-12.com.cisco.ISR_4331_Security,1.0_dba7c7eb-f2b3-4824-9690-10e46d998fa5

Other Info
=====
Software ID: regid.2014-12.com.cisco.ISR_4331,1.0_35288778-c93c-4fad-8e9b-41abf0339cc7
Agent State: authorized
TS enable: True
Transport: cslu
Locale: en_US.UTF-8
Debug flags: 0x7
Privacy Send Hostname: True
Privacy Send IP: True
Build type:: Production
sizeof(char) : 1
sizeof(int) : 4
sizeof(long) : 4
sizeof(char *) : 8
sizeof(time_t): 4
sizeof(size_t): 8
Endian: Big
Write Erase Occurred: False
XOS version: 0.12.0.0
Config Persist Received: False
Message Version: 1.3
connect_info.name: <empty>
connect_info.version: <empty>
connect_info.additional: <empty>
connect_info.prod: False
connect_info.capabilities: <empty>
agent.capabilities: UTILITY, DLC, AppHA, MULTITIER, EXPORT_2, OK_TRY_AGAIN, POLICY_USAGE
Check Point Interface: True
Config Management Interface: False
License Map Interface: True

```

```

HA Interface: True
Trusted Store Interface: True
Platform Data Interface: True
Crypto Version 2 Interface: False
SAPluginMgmtInterfaceMutex: True
SAPluginMgmtIPDomainName: True
SmartAgentClientWaitForServer: 2000
SmartAgentCmReTrySend: True
SmartAgentClientIsUnified: True
SmartAgentCmClient: True
SmartAgentClientName: UnifiedClient
builtInEncryption: True
enableOnInit: True
routingReadyByEvent: True
systemInitByEvent: True
SmartTransportServerIdCheck: True
SmartTransportProxySupport: True
SmartAgentConcurrentThreadMax: 10
SmartAgentPolicyControllerModel: False
SmartAgentPolicyModel: True
SmartAgentFederalLicense: True
SmartAgentMultiTenant: False
attr365DayEvalSyslog: True
checkPointWriteOnly: False
SmartAgentDelayCertValidation: False
enableByDefault: False
conversionAutomatic: False
conversionAllowed: True
storageEncryptDisable: False
storageLoadUnencryptedDisable: False
TSPluginDisable: False
bypassUDICheck: False
loggingAddTStamp: False
loggingAddTid: True
HighAvailabilityOverrideEvent: UnknownPlatformEvent
platformIndependentOverrideEvent: UnknownPlatformEvent
platformOverrideEvent: UnknownPlatformEvent
WaitForHaRole: False
standbyIsHot: False
chkPtType: 2
delayCommInit: False
roleByEvent: True
maxTraceLength: 150
traceAlwaysOn: True
debugFlags: 0
Event log max size: 5120 KB
Event log current size: 10 KB
Local Device: No Trust Data
Overall Trust: No ID

Platform Provided Mapping Table
=====
  ISR4331/K9: Total licenses found: 2863
Enforced Licenses:
  P:ISR4331/K9,S:FDO224917Q6:
    hsec9: regid.2015-02.com.cisco.ISR_4331_Hsec,1.0_7998f136-248d-4ee9-94be-2b561c04a51e
  (3)

```

show license udi

製品インスタンスの UDI 情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license udi** コマンドを入力します。高可用性セットアップでは、接続されたすべての製品インスタンスの UDI 情報が出力に表示されます。

show license UDI

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード	Privileged EXEC (Device#)						
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容		このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。		このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容						
	このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。						
	このコマンドが導入されました。						

例

次に、さまざまなシスコ製品インスタンスとさまざまなセットアップでの **show license summary** コマンドの出力例を示します。

- 例：スタンドアロン（Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ）での **show license udi**（43 ページ）
- 例：アクティブとスタンバイ（Cisco Catalyst 8000 エッジプラットフォーム ファミリ）での **show license udi**（43 ページ）

例：スタンドアロン（Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ）での **show license udi**

次に、単一 RP の製品インスタンスでの **show license udi** コマンドの出力例を示します。

```
Device# show license udi
UDI: PID:ISR4331/K9,SN:FDO224917Q6
```

例：アクティブとスタンバイ（Cisco Catalyst 8000 エッジプラットフォーム ファミリ）での **show license udi**

次に、アクティブ製品インスタンスとスタンバイ製品インスタンスが存在する高可用性セットアップでの **show license udi** コマンドの出力例を示します。両方の UDI 情報が表示されます。

```
Device# show license udi
UDI: PID:C8500L-8S4X,SN:JAD2331191E
HA UDI List:
```

```
Active:PID:C8500L-8S4X,SN:JAD2331191E
Standby:PID:C8500L-8S4X,SN:JAD2331191E
```

show license usage

製品インスタンス上にあるすべてのライセンスのライセンス情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show license usage** コマンドを入力します。

show license usage

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (Device#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
このコマンドは、Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2 よりも前のリリースで導入されました。	このコマンドが導入されました。
Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	<p>コマンド出力が更新され、ポリシーを使用したスマートライセンスに適用可能な新しいフィールドが反映されました。これには、<code>Status</code>、<code>Enforcement type</code> フィールドが含まれます。</p> <p>コマンド出力が更新され、予約関連情報、承認ステータス情報、および輸出ステータス情報が削除されました。</p>

例

次に、さまざまな製品インスタンスでの **show license usage** コマンドの出力例を示します。ディスプレイに表示されるフィールドについては、[表 4: show license usage のフィールドの説明 \(44 ページ\)](#) を参照してください。

- 例：不適用および輸出規制ライセンスでの **show license usage** (Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ) (46 ページ)
- 例：不適用ライセンスでの **show license usage** (Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ) (47 ページ)

表 4: **show license usage** のフィールドの説明

フィールド	説明
License Authorization: Status:	全体的な承認ステータスを表示します。

フィールド	説明
():	CSSM におけるようなライセンスの名前。 このライセンスが承認コードを必要とする場合、ライセンスの名前はコードから取得されます。
Description	CSSM におけるようなライセンスの説明。
Count	ライセンス数。ライセンスが使用中でない場合、カウントはゼロとして反映されます。
Version	バージョン。
Status	ライセンスのステータスは次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • In-Use : 有効なライセンスかつ使用中。 • Not In-Use • Not Authorized : ライセンスを使用する前に SLAC のインストールが必要であることを意味します。詳細については、承認コードを参照してください。
Export Status:	このライセンスが輸出規制されているかどうかを示します。それに応じて次のステータスのいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • RESTRICTED - ALLOWED • RESTRICTED - NOT ALLOWED • NOT RESTRICTED
Feature name	このライセンスを使用する機能の名前。
Feature Description:	このライセンスを使用する機能の説明。

フィールド	説明
Enforcement type	<p>ライセンスの適用タイプのステータス。これは、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENFORCED • NOT ENFORCED • EXPORT RESTRICTED - ALLOWED • EXPORT RESTRICTED - NOT ALLOWED <p>適用タイプの詳細については、次を参照してください：ライセンス執行（エンフォースメント）タイプ</p>

例：不適用および輸出規制ライセンスでの **show license usage**（Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ）

次に、**show license usage** コマンドの出力例を示します。ここでは、不適用および輸出規制ライセンスを使用中です。

```
Device# show license usage

License Authorization:
  Status: Not Applicable

hseck9 (ISR_4331_Hsec):
  Description: hseck9
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Export status: RESTRICTED - ALLOWED
  Feature Name: hseck9
  Feature Description: hseck9
  Enforcement type: EXPORT RESTRICTED

booster_performance (ISR_4331_BOOST):
  Description: booster_performance
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Export status: NOT RESTRICTED
  Feature Name: booster_performance
  Feature Description: booster performance
  Enforcement type: NOT ENFORCED

appxk9 (ISR_4331_Application):
  Description: appxk9
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Export status: NOT RESTRICTED
  Feature Name: appxk9
  Feature Description: appxk9
  Enforcement type: NOT ENFORCED
```

```
uck9 (ISR_4331_UnifiedCommunication):
  Description: uck9
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Export status: NOT RESTRICTED
  Feature Name: uck9
  Feature Description: uck9
  Enforcement type: NOT ENFORCED

securityk9 (ISR_4331_Security):
  Description: securityk9
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Export status: NOT RESTRICTED
  Feature Name: securityk9
  Feature Description: securityk9
  Enforcement type: NOT ENFORCED
```

例：不適用ライセンスでの **show license usage** (Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ)

次に、**show license usage** コマンドの出力例を示します。ここでは、不適用ライセンスのみが使用されます。

```
Device# show license usage
Load for five secs: 1%/0%; one minute: 0%; five minutes: 0%
No time source, 12:59:18.941 EDT Fri Sep 11 2020

License Authorization:
  Status: Not Applicable
network-advantage (C9500 Network Advantage):
  Description: C9500 Network Advantage
  Count: 2
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Export status: NOT RESTRICTED
  Feature Name: network-advantage
  Feature Description: C9500 Network Advantage
  Enforcement type: NOT ENFORCED
dna-essentials (C9500 24Y4C DNA Essentials):
  Description: C9500-24Y4C DNA Essentials
  Count: 2
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Export status: NOT RESTRICTED
  Feature Name: dna-essentials
  Feature Description: C9500-24Y4C DNA Essentials
  Enforcement type: NOT ENFORCED
```

show platform software sl-infra

トラブルシューティング情報を表示し、デバッグに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show platform software sl-infra** コマンドを入力します。このコマンドの出力は、テクニカルサポートチームがトラブルシューティングとデバッグに使用します。

license call-home { all | current | debug | stored }

構文の説明

all 現在の情報、デバッグ情報、および保存されている情報を表示します。

current 現在のライセンス関連情報を表示します。

debug デバッグを有効にします。

stored 製品インスタンスに保存されている情報を表示します。

コマンドモード

特権 EXEC (Device#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.2	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

解決できないエラーメッセージが表示された場合は、コンソールまたはシステムログに表示されるメッセージとともに、シスコのテクニカルサポート担当者に **show license tech support**、**show license history message**、および **show platform software sl-infra all** 特権 EXEC コマンドの出力例を提供してください。